

主な内容

本号は16頁です

- 青少年特集
- 16地区めぐり①「仁保」
- 中也と磯多

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈6月〉

- 発生件数 86 (累計 414 / 前年比+111)
- 死亡者 0 (累計 4 / 前年比 +3)
- 負傷者 120 (累計 502 / 前年比+140)



走る！跳ぶ！投げる！

台風一過の青空の下、第19回山口市陸上競技選手権大会（市陸上競技協会・市教委主催）が6月29日、県維新公園陸上競技場で行われました。437人の参加選手が短・中距離走、幅跳、砲丸投などに競い合い、スポーツ少年団の部の162人の小学生にはスタンドからひととき大きな声援が飛び交いました。最優秀選手賞「山口^{はじめ}」杯は110mハードルで15秒18の大会新記録で優勝した綿野圭二さん（NTT山口）に贈られました。

7/15
1997年 No.1200

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成9年7月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



138,021人
+830人



66,079人
+374人



71,942人
+456人



53,748
+807



7月1日行われた、青少年健全育成などの啓発パレード

ちゃんと見て ほんとの私 ここにいる

7月は「青少年を非行から守る全国強調月間」です

七月は「青少年を非行から守る全国強調月間」です。多くの地域で、巡回パトロールや声かけ運動などさまざまな活動が展開されています。

もうすぐ夏休み。子どもたちにとっては楽しい時期ですが、この解放感がともすれば非行に走りやすい時期でもあります。

子どもたちが非行に走ってしまう原因には、家庭環境・交遊関係・社会環境などさまざまなことが挙げられます。社会の中で成長していく子どもたちを親（家庭）、も先生（学校）も近所のおじさん、おばさん（地域）も一緒に問題解決に取り組みあたたかい目で子どもたちを見守りましょう。

現在青少年のため、地域で熱心実践活動をされている方々にお話を伺ってみました。

山口市青少年指導員白石地区代表・水上義昭さん



「春休みと夏休み後、青少年協議会が終わったあ

と反省をかねて年二回お互いに情報交換をしています。学校とよく連絡しあうことが一番大事ですね。子どもは伸び伸びと育てなければいけないと思います。起こった事象にのみ精一杯対応しているのが現状ですね。

非行に走る子はやはり家庭に問題がありますね。最低限のしつこさを家庭でするのが一番大事なことだと思います。親子の関係が崩

れ、信頼関係を失ったときが怖いですね。」

「乳児はしっかりと肌をはなす

な。幼児は肌をはなしても、手をはなすな。少年は手をはなせ、目をはなすな。青少年は目をはなしても、心をはなすな。」この言葉の中に子育ての心構えがあると思いますね。子育ては地位や名誉や金ではなく、子どもに対する真心があれば子を思う親の情は、子どもの心の中に永久に生きていくんではと思いますね。」

県民運動地区推進員・山口市青少年指導員・松野下幸枝さん



「十五年前に中学校の昼間指導員になったときから、と

にかく『あいさつ』をする『声か

け運動』が一番だとこれに全力をそそぎ取り組んでいます。

買物がてら、ほとんど毎日小・中学校の下校コースを半分ずつに分けて巡回し、声をかけています。自転車に乗っている子がヘルメットをかぶらなかつたり、ライトをつけていなかったりするのは『どうしてかぶってないの。ライトをつけないとあぶないよ』とやさしく声をかけるように心がけています。子どもの方も次に声をかけると『あのおばちゃんだ』と親しみを持ってくれるようになってきました。

家庭で親子の約束事、例えば、帰宅の門限や一人で遊ばないなど、最低限の約束ごとを守るようにしたら子供もきつと信頼関係を保ち、問題は起こらないと思うんです。

子どもたちに声をかけ、その時、子どもの笑顔を見たらその日の疲れもすぐとれます。これが今の私の生きがいです。」

小郡警察署少年相談員山口南部地区会長・国吉英次さん



「もう三十年以上も相談員をやっているとき々なこと

がありました。子どもが、非行に

走るかどうかは家庭がどうあるかにかかっていると思います。

地区内の駅やスーパーの自動販売機など、若者のたまり場を地区の指導員さんとお互い連絡を取り合って、夜遅くまで巡回したことが何回もあります。

初めから悪い子はいないんですよ。今、子どもが何を考えているか。友達はあるのか。その友達はどうな人なのかを親がたえず気をつけていれば問題は起こらない、そう確信できます。」

「子どもが本当にやりたいこと……。好きでその道に進みたいといつても親が認めないケースが多いんじゃないか？。その子の長所を見て進みたい道を親子で探してそれを認め、一緒に考えてやることが一番大事なのではないでしょうか。昔から子どもは親の後ろ姿を見て育つと言われるんですが、家庭さえしつかりしていれば非行に走る子も出ないと思います。」

山口市青少年センター運営委員、山口市青少年指導員・吉松昭夫さん



「四月から青少年指導員を委嘱され、子ども

に接する機会が多くなりました。

子どもたちにとって、現在の社会はとても住みにくい世の中だと思います。

若者向けの衣類、バッグ、文具などを扱う店を経営しているので、どうしても子どもとのかかわりが多くなっています。

父親と母親とでは子どもを育てる役割が違うと思うんです。子どもは昔から親の後ろ姿を見て育つものだと思います。現在は、共働きがほとんどで、父親と母親が働く姿を見れば、逆に今の世の中、夫婦で後ろ姿を見せるチャンスが一杯あると思うんです。

今の子どもには創造的な遊びがないんです。携帯電話やプリンタで友達関係を保っているというんです。だから、子どもたちが今、何を求めているかそれを考えてやるのが大人の務めではないかと思っています。」

山口市青少年指導員佐山地区代表・小林博さん



「十五年前から青少年指導員として子どもたちの指導をしています。地区の指導員さんと連絡を取り合い、駅やコンビニなどを年に十数

回、夜間巡回指導をしています。現在の親は自分の子どものことと知らなさ過ぎるのではないかと。

どんな友達がいるか。いい友達なのか？。これを知ることが大切なことです。」

「また、子どもに手伝いをさせるよう役割分担をし、食事のあとかたづけ、玄関の掃除などできることはさせる。そして家庭の一員として認め、ほめてやる。これが子どもの人格を認めることになると思うんです。家庭では少々突き放しても親が愛してくれている。自分を必要としている。こういう信頼感があれば悪い友達からの誘惑に負けないと思います。」

要は子どもと、つかず離れず、ある時は突き放せるそういう親にならなければいけないのでは、そう思いますね。」



パレード前の集会（亀山公園ふれあい広場）

環境点検、改善活動の中から

6月26日夕方、鑄銭司地区青少協、青少年指導員、県民運動地区推進員の約25人が小郡警察署、駐在所、吉南補導連盟などと連絡をとりあい、JR四辻駅（無人駅）に集まって点検をしました。これは、青少年に有害な環境（雑誌、ビデオ自販機や店頭の不良出版物、危険箇所）を改善するために、地域の状況をよく知ろうと行われたもの。「環境浄化・改善活動」といって青少年健全育成活動の重要な活動の一つです。



今、無人駅が……

JR四辻駅をはじめ、山口市内のほとんどの駅が無人化になって久しいのですが、中には青少年の深夜に及ぶあまり場になり、喫煙、不純異性交遊の場になっている所があります。お互いが注意して、非行の温床、問題行動にならないよう見守っていききたいものです。

この人

— 青少年を見守り、駅の美化に取り組む 浅原浩さん —



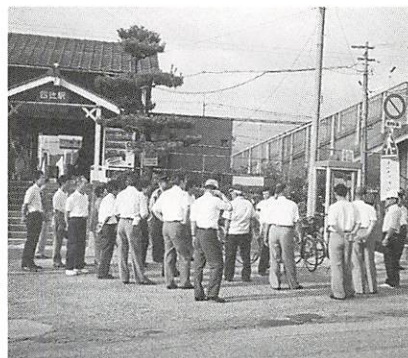
鑄銭司在 住の浅原浩さん（鑄銭司地区社協 会長・鑄銭

司地区青少協委員）の一日は、午前三時半からのJR四辻駅周辺の掃除で始まります。ほうきで掃きゴミをきれいにし、駅の待合室、便所、ホームはふいて水洗いまでし、ゆうに二時間はかかるそうです。いったん家に帰り朝食後八時ごろからまた自転車置場の整理に

取りかかります。

平成六年十二月、同駅が無人化。「このとき、最も気にかかったのは、この辺りが青少年の非行の温床になるのではないかとということでした。周辺は早朝から若者がたくさんたむろしていました。駅舎や周辺はゴミの山。これを見ただけでどうにかしなければと思いはじめました。ここがきれいになれば、少しでも青少年の心もきれいになると信じて……。環境の美化が人の心を和やかにし、社会を明るくすることにつながると取り組んでいるんですよ。」とおだやかな口調で話されました。

通学や通勤などで駅を利用する人たちは、毎日すっきりした気分電車での乗り降りをしていきます。こんなすばらしい人が、あなたの周りにもいませんか。



中原中也生誕90年・
没後60年記念事業

復活・スルヤ演奏会, 97

9/23 山口県教育会館

昭和2年、中原中也は「スルヤ」という音楽集団と交流して、中也の詩も「スルヤ」の演奏会で歌われました。そこで、スルヤの曲を再演するとともに、平成の「スルヤ演奏会」を創作します。

碑前祭

10/22 高田公園

企画展の開催初日であり中也の命日でもある10月22日に、高田公園にある「帰郷」の詩碑の前で式典を行います。

ジョイントコンサート「一つのメルヘン」

10/22 山口県教育会館

没後50年忌にも参加した歌人福島泰樹、そして長谷川泰子と共演した女優吉行和子、シャンソンを歌う歌手長谷川きよし。この三者によるそれぞれの中也像を舞台芸術として表現します。

映画「太陽と月に背いて」

11/7 山口県教育会館

19世紀後半の天才詩人ランボーとヴェルレーヌの交友と生涯を描いたフランス映画「太陽と月に背いて」を上映します。

「太陽と月に背いて」を上映します。

企画展「中原中也とランボー」

10/22～11/24 中原中也記念館

フランス詩の翻訳に携わった中也が最も多く翻訳している詩人、アルチュール・ランボー。彼から中也が受けた影響を考え、ランボーとのかかわりから中也の業績を探る企画展です。

一つのチャンスになれば

中原中也記念館館長

福田百合子さん

みなさんには今回の記念事業を一つのチャンスにしてもらって、中也の新たな面を見つけてもらいたいですね。音楽や映画などいろいろなアプローチによって新しい魅力が見えてくればと思います。また、ここだけではなく、文学館同士のつながり、地域の人のかわりなど、いろいろなネットワークの広がりができていくようなチャンスにもなればと思っています。



中也と磯多

この秋記念事業開催

今年1997年は中原中也(1907～1937)の生誕90年・没後60年、また嘉村磯多(1897～1933)生誕100年の節目の年にあたります。これを機に、山口が生んだ二人の文人を偲んで、様々な記念事業が計画されています。

ここでは、記念事業の内容などについて紹介するとともに、中原中也記念館の福田百合子館長と、「風響樹」同人の多田みちよさんにそれぞれの記念事業への思いなどについて、うかがいました。



嘉村磯多生誕100年・
記念事業

嘉村磯多生誕祭

10/18 仁保・大富公民館

嘉村磯多生誕一〇〇年の記念式典と磯多の作品の朗読、吟詠、献歌、献句を行います。

記念講演会

「嘉村作品が語りかけるもの」

10/18 C・S赤れんが

嘉村文学の研究をされている鹿児島大学の廣瀬晋也教授による嘉村磯多と彼の文学についての講演会です。

嘉村磯多展

10/18～26 C・S赤れんが

磯多に関する全集や評論、書簡、蔵書、原稿などを展示。また書斎の再現や写真による磯多の足跡を再現します。

短芸芸大会

10/12 仁保・大富公民館

磯多の生家から妙見社周辺において、短歌・俳句の創作ハイキングを行い、献歌・献句とします。

市内文学散歩

10/25

高田公園や常栄寺、磯多生家など文学に関わりのある市内の各所をめぐる予定です。

磯多文学の原風景・仁保

「風響樹」同人

多田みちよさん

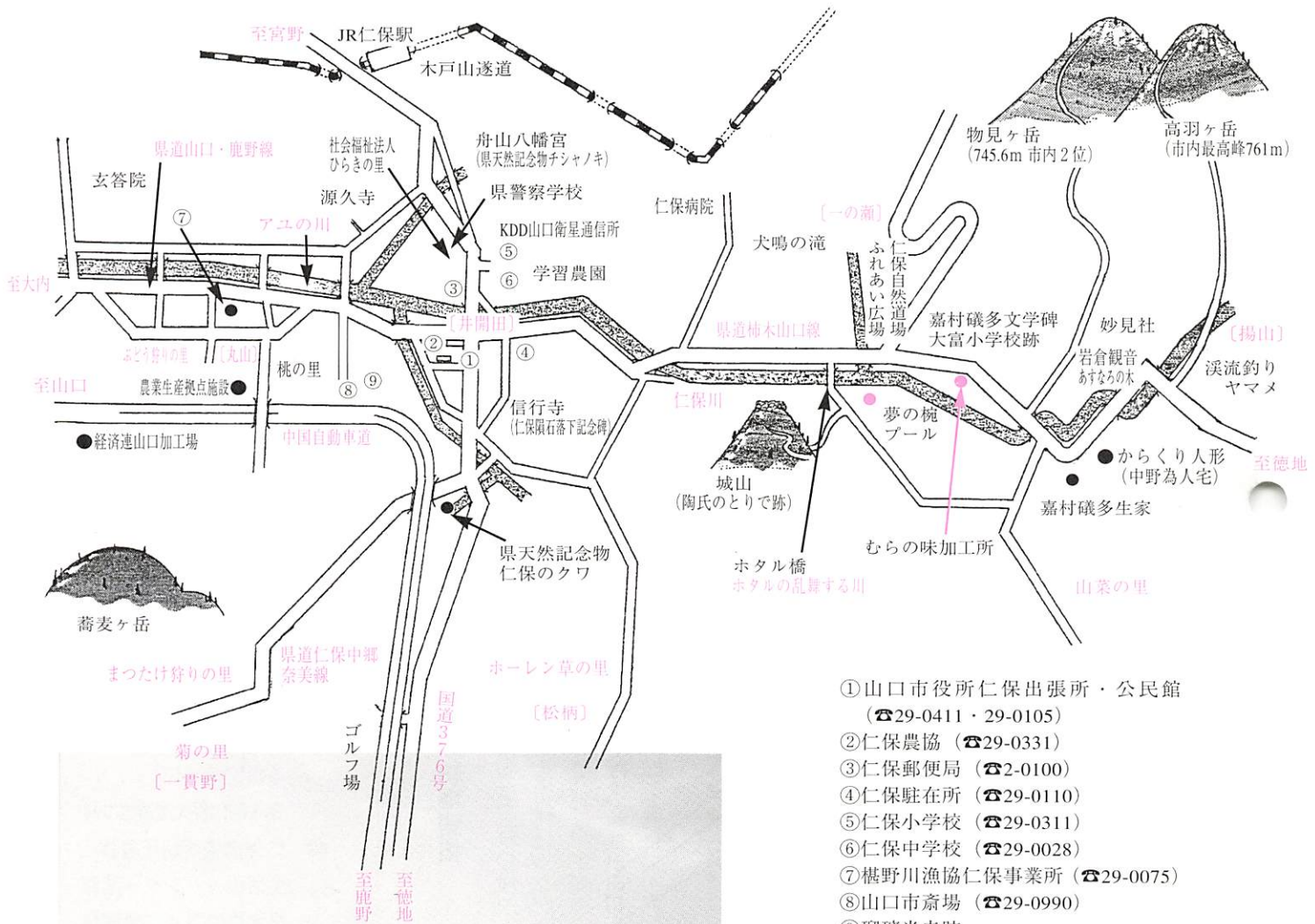
磯多は人間の持つ「業」の苦しみ率直に作品にし、自分の醜さを暴き出していた作家だと思っています。なかなか難しいことですが、磯多はこの「業念」を作品にすることに「私小説の極北」とまでいわれているのです。

仁保上郷の磯多の生家があるあたりは、磯多の文学を知らない人が訪れても、どこかほっとするような緑に囲まれた美しいところです。この記念事業を機にみなさんに磯多をもっとよく知っていただいて、磯多文学の原風景ともいえる自然や雰囲気を守ってもらいたいですね。そして記念事業の一つ、生家から大富公民館までの短歌・俳句の創作ハイキングを続けていければと思っています。

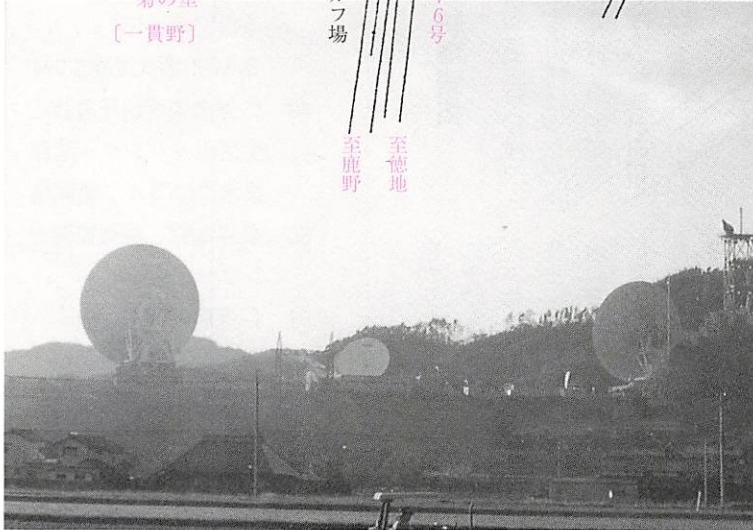
16地区めぐり① 仁保

仁保地区

山口市の最北に位置し、16地区で最大の72.8km²の面積（山口市356.90km²）。徳地町と接する東、阿東町と接する北は山口市の最端。人口3,913人、1,155世帯（7月1日現在）



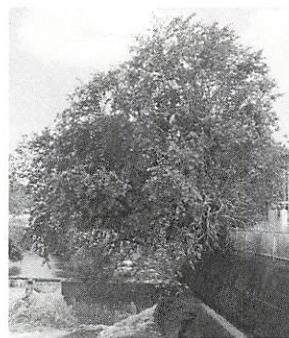
- ①山口市役所仁保出張所・公民館
(☎29-0411・29-0105)
- ②仁保農協 (☎29-0331)
- ③仁保郵便局 (☎2-0100)
- ④仁保駐在所 (☎29-0110)
- ⑤仁保小学校 (☎29-0311)
- ⑥仁保中学校 (☎29-0028)
- ⑦榎野川漁協仁保事業所 (☎29-0075)
- ⑧山口市斎場 (☎29-0990)
- ⑨瑠璃光寺跡



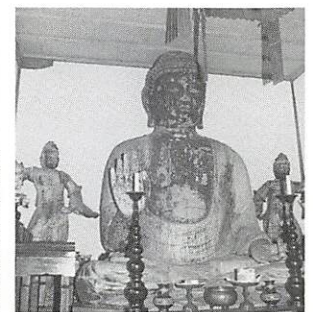
▲写真提供 KDD山口衛星通信所



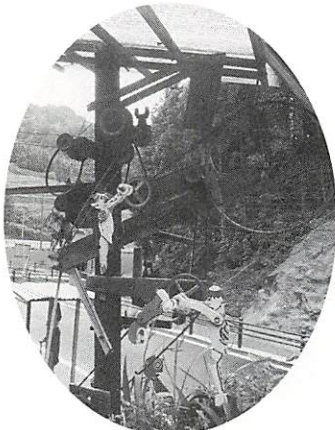
嘉村礒多 生家



仁保のクワ（高さ7m）



県指定有形文化財 玄答院
木造阿弥陀如来坐像（高さ2.7m）



からくり人形

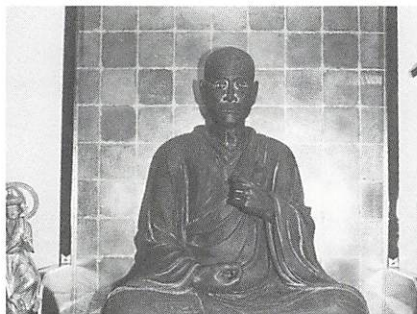


「子どものころから水車を作ってみたくて、というのが夢でした」とからくり人形作りのきっかけを話される中野為人さん。テレビや雑誌で紹介され、全国から見物客が。

歴史

仁保地区年表(明治以降)

明治22	上郷・中郷・下郷3村が合併し仁保村発足
大正4	山口線木戸山隧道(トンネル)工事中に落盤大惨事発生
6	山口線仁保駅開業
昭和16	一貫野が仁保村に編入
23	仁保農業協同組合発足
25	仁保公民館発足
27	教育委員会事務局設置
30	大内・小鯖・仁保3村合併して大内町発足
38	大内町、山口市と合併仁保自治会発足
40	丸山遺跡で箱式石棺墓など発見
42	県経済連仁保加工場建設
44	KDD山口衛星通信所開所
48	山村振興法の適用による指定地域に 第1回仁保大農業まつり
49	仁保出張所新庁舎移転 生活改善センター開館 泉水原にゴルフ場開場
50	農協本館、生活協同センター完成
51	仁保病院開業
56	山口県警察学校落成
62	榎野川漁業協同組合仁保事業所開設
平成2	山口市斎場完成
8	下郷地区農業集落排水一部使用開始



国指定重要文化財平子重経坐像(源久寺)

平子氏の時代

「中世の仁保は、建久八年(一一九七)、平(平子)重経を仁保荘・恒富保(現平川)地頭職に補任した前右大将家(源頼朝)政所下文(「三浦家文書」)によって歴史の舞台に登場する」。

平子氏は、相模三浦半島の三浦氏の一族、武蔵国久良岐郡平子郷(現横浜市)に居住していました。鎌倉時代前期に以前からの仁保の荘園領主の支配を排除し、実

質的な仁保領主となり、南北朝時代に大内氏嫡流に属することになったといわれています。南北朝から仁保氏を名乗っています。

大内氏滅亡の後には、毛利氏に属し、関ヶ原の戦いで敗れた毛利氏の領国が防長二国になると、二十四代元精(三浦氏)は徳地に住み、やがて萩に移住しました。仁保の中世も三浦氏の退去とともに幕を降ろしました。

源久寺は、源頼朝の菩提を弔うために、正治元年(一一九九)、重経が建立しました。



職住生永本蔵

「鎌倉時代の大内氏の歴史がはつきりしない面もあり、重経からの仁保の歴史は貴重です。今年には重経が仁保に入ってちょうど八百年、仁保が見直されるきっかけ

になればと思っています」。

戦後の耕地開拓

戦後の耕地開拓は、村に帰ってくる引揚者の生活再建につながりました。中郷高野地区、下郷丸山・東園・深野地区の林地が開拓され高野に二十戸、下郷に二十六戸が入植しました。

ご自身も京城(韓国ソウル)から引き揚げ、高野に入植され、山口県引揚者更生会の常務理事もつとめられた山根勇さんは「仁保では、私が高野地区の世話をし、下郷は須子勝平さんが開拓組合の組合長でした。」



山根勇さん

「まず、資材がないんです。村有林の材木を払い下げてもらったんですが、釘がない。徳山に隠退蔵物資で摘発した釘が十五樽あ

るときいて調達してもらったり、窓ガラスも家ができて二、三年後にやっと入るような状態でした。

一年間は無収入ですから、村費で生活保護を受けました。「土地の者が帰ってきたんだから」と仁保の人が理解を示してくださったことが大きかったですね」と当時を振り返ってくださいました。

土地を動かす村づくり

昭和五十三年、上郷地区から始まった圃場整備事業は、五十九年に県営圃場整備事業の指定を受け、着々と進行、平成十四年完工予定の一貫野地区を含めて地区全体の耕作面積の九十パーセント以上の整備率になります。

仁保土地改良区の山岡一衛常務理事は「村づくり百年の大計土地改良」を看板に掲げています。市道・県道の整備、河川改修などが平行して進められ、現在の仁保の町の原型ができたと思いま

仁保隕石(信行寺)



仁保隕石落下記念碑



仁保隕石No2のレプリカ

明治三十(一一八九七)年八月八日午後十時三十分頃信行寺の境内竹林と西側水田に隕石が落下しました。仁保隕石No1、No2と命名され、No2は東京上野の国立科学博物館に展示されています。



山岡一衛さん

仁保地区の歴史は、「仁保の郷土史」(昭和六十二年・仁保の郷土史刊行会発行)を参考にしました。編さん委員の郷土史家・富永繁久さんは「仁保の歴史とともに



富永繁久さん

に、風習や人情が比較的すたれていないのが仁保のいいところではないか」と話しておられます。

仁保の村づくり



『近代的田舎社会を作ろう』

一貫野で菊作りをされている山本繁正さんは、昭和四十四年から二十二年間、そして四年前から再び仁保自治会長をつとめられ、まさに仁保の村づくりの中心となつてこられました。

開口一番「村づくりはきびしい」。「百戸以上の住宅団地の造成の申し込みがあった。それを断わっても仁保の人情を大切にしたい村づくりをする。苦しい選択ですよ」。

「昭和四十六年に、『仁保開発計画』を作りました。生活環境はできるだけ近代化しながら、人情

は古き良き田舎社会を大切にしたい。『近代的田舎社会を作ろう』という目標ができたわけです。

たとえば、圃場整備は上郷地区から、市道の舗装工事も上郷や松柄、一貫野などからというように、地区の開発は周辺の過疎地域からというのが仁保の考え方の原点。真中は便利だから少し我慢してくれと」「村づくりの発想は村の中から起こす。『仁保モロー主義』といわれますが、良い意味でないといけない。仁保しか見えないのじゃなく、広く社会情勢を知っていないでは」。

六十七歳の山本さん。後継者の育成は最大の課題です。

「『村づくりは人づくりから』といわれますが、『人づくりは村づくり事業から』と思います。仁保では集落のリーダーは大変といわれます。一つの事業をするときは、リーダーが責任を持ってやりますから。しかし、事業をやりおえたとき、観念的でなく本当のリーダーに成長します」。



山本繁正さん

「計画中の『道の駅』は仁保にとつて二十一世紀に向けた大事な施設。自分たちの施設として

『若いもんが考えろ』と言ってあるんです」と笑って話されます。

『近代的田舎社会』

パート2に向かつて

「アピールするチャンス」と受けて立つのは吉廣利夫さん（四十八歳）、農協に勤め、仁保の若者たちでつくる『村づくり塾』のリーダーでもあります。



吉廣利夫さん

「『村づくり塾』は、二十三歳から四十八歳までの十五人のグループ。塾は今のところ、祭好きの人間が集まって一緒に楽しもうという感じ。楽しみを共有すること、一つの喜びということがわかってくれれば、そこから何かが始まると思います。塾の中から僕たちの村づくりを始めていきたい」。

工藤洋史さん（四十八歳）が千葉の設計事務所をたたみ、奥さんの洋子さん、洋平君（仁保中一年）と一緒に仁保に来たのは二年前でした。

「土・日はもちろん、毎日午前十二時三時まで仕事、晩ご飯を家で食べるのも年に十回くらい。そんな生活でした。『思い切つて田

舎に行こう』つて家族と相談しました」。

奥さんとともに東京生まれで、縁もゆかりもなかった「山口県の新規就農事業が自分に合っている」と仁保で初めての農業に取組み、二反の畑で菊作りを始めました。「地区や農協の人、いろんな人にお世話になっていきますから、早く専業農家として独立すること



が最低限の義務とと思っています。『道の駅』の検討委員会にも入れていただいで、菊グループ以外の地元の人との付き合いも増えています。田舎というところとベタベタした人間関係のイメージですが、野菜をそつと玄関先に置いてくださったりするんです。

仁保が『近代的田舎社会』づくりを昭和四十六年からやっているというのはいすこいと思えます

よ。ふところの広さを感じます。都会的とは違うんですね」。

「おごつた言い方かも知れませんが、若い世代の専業農家が増えてほしい。自分たちがうまくやるのが、きっかけになれば」。二十六年間、仁保の人たちが一丸となって続けてきた『近代的田舎社会』づくり。パート2が始まろうとしている。

仁保の農産物



仁保農協 協長 山本繁正

「米を主体に、ブドウ・桃などの果樹、菊を中心とする花、ホーレン草、菌床シイタケなどが仁保の主な農産物です」。

仁保は地区の面積が広く、標高も四十七メートルから三百メートルと差があります。土の特質を活かして、少量多品目、いろいろな物ができる。『彩りゆたかな村づくり』をこれからの農業のリーダーに掲げています。

有機質を使った生産、農薬の使用をおさえるなどおいしくて安全な米や野菜を作っています。

『道の駅』建設計画のさきがけとなる野菜などの直売店・アンテナショップも今月十九日にオープンします」。

7月「愛の助け合い運動」月間

献血は だれでもできる ボランティア



キョウト 救人ちゃん

私たちの体内には、成人男性で体重の約8%、女性で約7%の血液が流れており、酸素を体中の細胞に運んだり、体外から細菌やウイルスが侵入するのを防いだり、人の生命を維持するのに大切な役割を担っています。病気などが原因でこの機能が低下した場合、それを補うために輸血が必要となります。そのほかにも事故や多量の出血を伴う手術の時など、輸血用の血液は、季節を問わず、年間を通じて常に求められています。血液は人工的に造ることはできません。皆さんの協力があつてこそ、多くの患者さんを救えるのです。

では、献血にはどのような種類があるのでしょうか。

現在行われている献血には、血液中の血小板や血漿だけをいただく「成分献血」と、血液中の全ての成分をいただく「全血献血」があります。全血献血には四〇〇ミリリットル献血と二〇〇ミリリットル献血がありますが、輸血による感染症や副作用を少なくするため、四〇〇ミリリットル献血の要請が主流となっています。また、年間を通じて需要の多い血小板や血漿の安定確保を図るために、成分献血も強く求められています。平成八年度の実績報告によ

ると、山口県では血漿の使用量が最も多く、全国でもトップクラスでした。しかし、管内の自給率は九六・八%と低く、他県から配給してもらっているのが現状です。また、昨年一年間の献血者数は八万八千九百三十人で、七年度に比べ千九百六十人も減少しており、特に若年層の献血者が減っているが目立ちます。急速に進みつつある少子化・高齢化。輸血用血液を必要とする高齢者が増加し、一方で献血できる方々が減少傾向にあるため、将来、輸血用血液が不足することが心配されています。病气やけがの症状や程度によって血液成分の全てを必要とする場合や、成分の一部だけを必要とする場合など、求められる血液は

■献血方法別の採血基準

	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板成分献血	200ml 献血	400ml 献血
献血できる年齢	18～64歳	18～54歳	16～64歳	18～64歳
献血できる体重	男性45kg以上・女性40kg以上		男女とも50kg以上	
年間の献血回数	血小板成分献血1回を2回分に換算し、血漿成分献血と合計で24回以内		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内

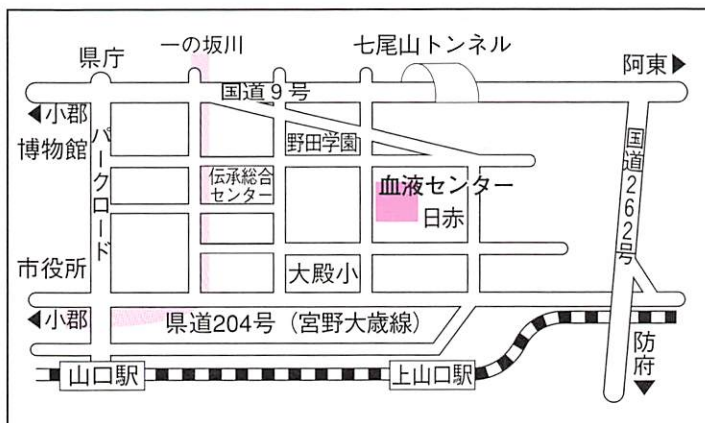
山口県赤十字血液センター

フリーダイヤル 0120-456122

◆受付時間 月～土曜日

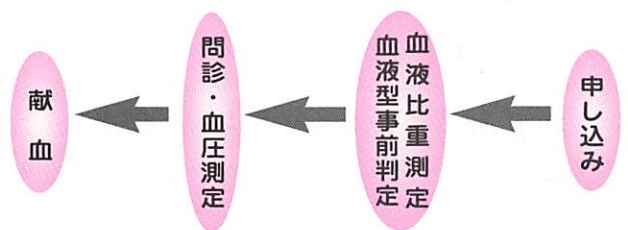
〈成分献血〉午前9時～11時／午後1時～4時

〈全血献血〉午前9時～11時50分／午後1時～4時30分



さまざまです。いつ、どのような事態が発生するか分かりません。いかなるケースにも対応できるようにするためには、より多くの方の協力と理解が必要です。現在市内で献血ができるところは、山口県赤十字血液センターと、同センターの移動採血車です。血液センターでは少しでも多くの人に協力してもらえようと、土曜日にも献血を実施して協力を呼びかけています。平日は足を運ぶことのできない方も、ぜひこの機会を利用して献血をお願いします。

献血の流れ



※成分献血は予約が必要

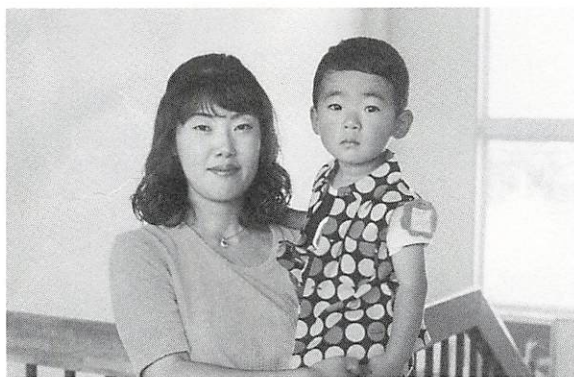
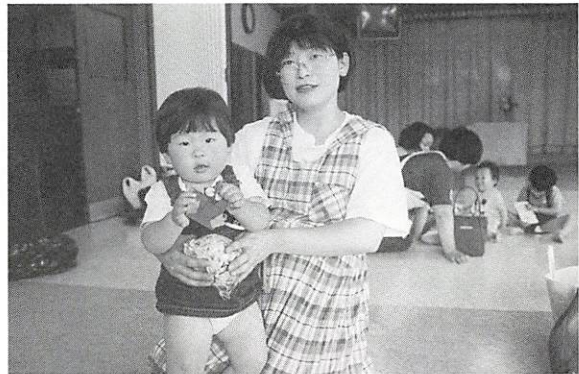


おかあさん
子育てふんとう記

「子育て」。授かった子どもを育てていくということは、単に「育児」ということのみならず、親子のきずなを深めたり、愛情を分かち合ったりする意味で、家族として大切なことです。しかし、若いお父さん、お母さんにとっては苦勞もつきもの。
さて、山口市の若いお母さんは子育てについてどのように感じているのでしょうか？

近所に友達がいれば…

今月中に、もう1人子どもが生まれる予定という横山ひろみさん・友貴ちゃん母子（仁保）。「近所に同じくらいの子どもがいないので、お母さんと1対1でいることが多くて、それが悩みです。また、甘えさせてやりたいけど叱らないといけないときの葛藤もあります。将来は自発性のある子、自分で考えて行動する子に育ってくれればと思います。でも元気で丈夫だったらそれが何よりです」。

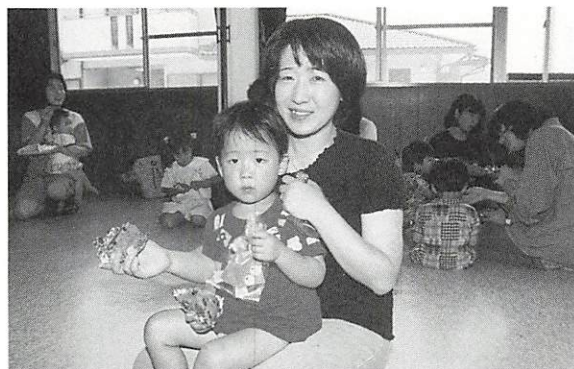


たくさんの子どもと一緒に遊ばせたいです

河村三代子さん（佐山）の子どもさんは、3歳になる将治くん。「近所に同じ年の子がいないので同年輩の子どもたちと遊ばせるのが大切だといつも感じています。ですからそのような機会があれば、積極的に参加するようにしています。また、子どもには小さいころからいろいろな所を見せておいた方がいいと思うので、年に何回かは旅行につれていきます。山口市には自然が多く子どもを育てるにはいい環境ですね」。

男女2人の子育ては大変

中島智弓さん・亨太くん母子（佐山）は、「山口は自然が豊かで子どもを育てるのにはいい環境です。小学1年の娘もいるのですが、娘は自分の意思をもっているし、また男の子と女の子特有の性格、行動、言葉の違いから、2人を一緒に育てるのが大きな苦勞ですね。でも子育ては楽しんでやっています。子育てサークルなどで子育てについても学んでいるんですよ」。



いつも田んぼの中で遊んでいます

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒なので、子育ての環境はとても恵まれているという右田由美子さん・剛志くん母子（仁保）。「街なかだと心配ですが、家のまわりが田んぼなので、外で元気に走り回ってのびのびと育てています。将来はきれいなものを見てきれいといえる、素直な感情豊かな子どもに育ててもらいたいですね」。

星に願いをこめて

7月5日、「七夕キラキラフェスティバル」が市児童文化センターで開かれました。市内の幼児、小学生とその保護者ら約80人が参加、6mほどの高さのササ2本に七夕の飾りや短冊を飾りつけました。短冊には「きれいな歯になりますように」「早く大人になりたい」など思い思いの願いごとが書かれていました。また、「コーラス」や「たのしいかげえ」もあり彦星と織り姫の出会いに夢をさせ、楽しいひとときを過ごしました。



健康づくり街頭キャンペーン開催

7月7日は県が制定した「県民健康の日」。それにちなんで同日、健康づくり街頭キャンペーンが中市商店街で行われました。この日は朝から雨が朝から降り続いていましたが、商店街の買物客が気軽に立ち寄って、血圧測定や体脂肪測定などを受けていました。

今年のキャンペーンでは、特に成人病予防のため「食物繊維」についてパネル展示などを行ったほか、パンフレット配布によりO（オー）157を防ぐための意識啓発活動に力を入れています。



「生き物市」

今年で二十一回目目の「生き物市」が、二島小学校で六月二十一日にありました。

広い体育館に子どもたちの持ち寄ったうさぎ、にわとり、ハムスターや小鳥、くわがたなどの昆虫類からざりがになど、水辺にいるかめ、それに鉢植えの花や観葉植物などをそれぞれ交換するので。交換の前には、今日出ているものやほしいものを見てもまわる時間があります。

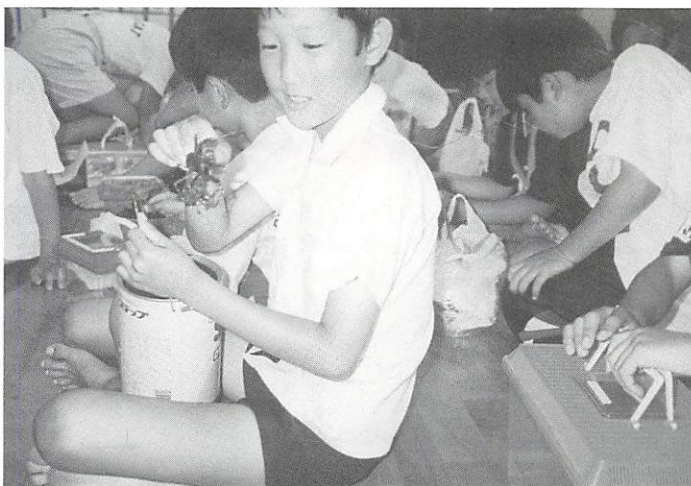
合図で自分のほしいものところへ行き、希望者の多い時はじゃんけんで決めます。今年もやはり人気はハムスターやかぶと虫のようでした。気に入った小鳥をもらい自分のかごに入れようとして飛びたつたアクシデントもあり、大にぎわいです。また交換のものには必ず名前とメッセージをつけることになっていました。このように長く続くとマンネリ化しないよ

モニター短信

うにとの考えから、今年も交換の前に班に分かれての動物の足当てクイズや、シルエットによる野菜当てクイズなどの企画に低学年も高学年の子どもも一緒に楽しんでいました。この生き物市を通じて生き物とふれあい、育てることの喜び、また、交換した友だちとのふれあいを大切にいろいろなことを知り体験して、すばらしい二島っ子になってください。

二島地区広報広聴モニター

徳田マスエさん



トッププレイヤーの競演に酔いしれる



(財) 山口市文化振興財団設立1周年記念事業である「ヴィルトゥオーゾガラコンサート」が6月25日に山口市民会館で開催されました。前N響コンサートマスターの徳永二男さんをはじめ、このコンサートに出演した6人のプレイヤーはクラシック界の巨匠といわれる人ばかり。1,300人近い聴衆の前でヴィヴァルディ「四季」をはじめ、サラサーテ「ツイゴネルワイゼン」などを演奏し、聴衆から大きな拍手を受けていました。

初めて田んぼに入ったよ!

消費者と生産者が農業体験をとおしてふれあうJA山口中央「百姓村」。3回目の今年は、6月29日、秋穂二島の「グレンプラザやまぐち」隣接の水田で田植え体験から始まりました。50家族約160人の参加者は横1列になって田んぼに入り、「ヒノヒカリ」を1株ずつ植えていきました。田植えのあとは、地元産米のおむすびの昼食会も開かれ、親子で山口のお米を味わいました。

8月にはスイカもぎ体験、10月に稲刈り体験も行われます。



うりのあん漬け

- ①若うり(10kg)をよく洗い、なり口を少し切る
- ②スプーンなどで種を出して水気をよく切り、その中に塩を入れ、全体にも塩をまぶし、重石をして1~1.5kgの塩に漬ける
- ③3日くらいたってからあげ、半日ほど天日干しする
- ④あんを作る。せん切りにした青じそ・みょうが・しょうがと、水で戻した青切りこんぶに化学調味料・塩各少々をふってよく混ぜ、少し干す
- ⑤③のうりの水気をよく拭き、④のあんを中に詰める(口からでないように、つまようじで止めるとよい)
- ⑥カメの中を焼酎で拭き、みそ5~6kgと砂糖1kg、みりん1カップをよく混ぜて作ったあわせみそを敷き、うりと交互に入れる。最後にあわせみそをのせて押さえ、密閉し、涼しい所に置く(みそが辛い場合、酒かすを混ぜるとまろやかになります)

※半年くらいから食べ頃ですが、3年はもちます。秋ぐちに漬ける場合は、塩水に漬けてしぼった青じその穂を混ぜても美味ですよ。

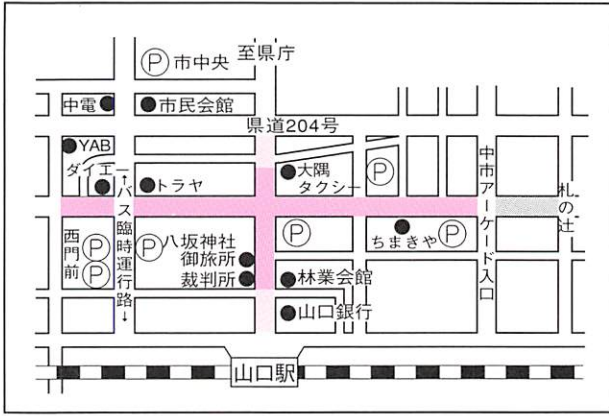


~杉山壽代さん(富田原町・77)の紹介~

おもなできごと (6/24~7/7)

- 6月**
- 25日 ★ヴィルトゥオーゾ・ガラ・コンサート
 - ★県北部を震源とした地震があり、山口市では震度4を記録
 - 27日 ★山口公園完成記念パンプローナ市訪問団出発(7月4日帰国)
 - 28日 ★中型で並みの強さの台風8号が接近、交通乱れる
 - 29日 ★第19回山口市陸上競技選手権大会
 - ★「百姓村」親子体験農業-田植え体験
- 7月**
- 1日 ★社会を明るくする運動・青少年健全育成啓発パレード
 - ★済生会湯田温泉病院開院式
 - 5日 ★七夕キラキラフェスティバル
 - 7日 ★健康づくり街頭キャンペーン

期間中の交通規制



- ◇規制種別 車両通行止め
- ◇日時 7月20日～27日（8日間）、午後7時～10時（22日・23日・25日は9時まで）
- ◇区間 ■の区間 ただし■の区間は20日・27日のみ規制。■の区間は24日のみ規制。

山口祇園祭

（7月20日～27日）

- 発車時刻
20時55分発／21時10分発／21時25分発
- ※市営バスでは、24日にセンタービル前より湯田温泉行き臨時バスを運行します。
 - ・みこし御還幸 20時30分から／御旅所／八坂神社
 - ・市民総踊り 19時30分から／商店街ほか
 - ・祇園囃子 19時から／八坂神社／商店街
 - ・みこし御神幸 19時から／八坂神社／御旅所
 - ・鷺の舞奉納 18時30分から／八坂神社
- 20日（日）

平成9年度 職員採用試験

山口県中部環境施設組合職員

試験区分	試験職種	採用予定人員	受験資格
初級	技術	2人程度	昭和51年4月2日以降に生まれた人で、高等学校卒業者または平成10年3月末日までに卒業見込みの人
	電気	1人程度	①昭和38年4月2日以降に生まれた人で高等学校卒業者 ②電気主任技術者（第3種以上）の資格を有する人、または平成10年3月末日までに取得見込みの人
	機械	1人程度	①昭和38年4月2日以降に生まれた人で高等学校卒業者 ②ボイラー・タービン主任技術者（第2種以上）の資格を有する人、または平成10年3月末日までに取得見込みの人

- ◇第1次試験 9月21日（日）
- ◇試験会場 山口市役所
- ◇受験手続き 「受験申込書」は山口県中部環境施設組合総務課、市役所受付または各出張所にあります。郵送で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書し、宛先明記の返信用封筒（角形2号＜A4版＞）に190円切手を張って同封のうえ、山口県中部環境施設組合総務課（大字朝田28 ☎24-1667）へ
- ◇申込締切 8月18日（月）必着

山口市職員

試験区分	試験職種	採用予定人員	受験資格
中級	保育 幼稚園教諭	1人程度	昭和49年4月2日以降に生まれた人で、保育資格および幼稚園教諭免許（2種免許以上）をあわせ有する人または平成10年3月末日までに取得見込みの人
初級	事務	7人程度	昭和51年4月2日以降に生まれた人で、高等学校を卒業した人または平成10年3月末日までに卒業見込みの人
	土木	2人程度	
水道局初級	土木	1人程度	

- ◇第1次試験 9月21日（日）
- ◇試験会場 山口市役所
- ◇受験手続き 「受験申込書」は市職員課、市役所受付または各出張所にあります。郵送で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書し、宛先明記の返信用封筒（角形2号＜A4版＞）に270円切手を張って同封のうえ、市職員課（亀山町2-1 ☎22-4111）へ
- ◇申込締切 8月18日（月）必着

山口・小郡消防組合 消防吏員

試験区分	試験職種	採用予定人員	受験資格
初級	消防吏員	5人程度 男子4人程度 女子1人程度	昭和49年4月2日以降に生まれた方で、高等学校卒業または平成10年3月末日までに卒業見込みの人。 昭和47年4月2日以降に生まれた人で、救急救命士の資格取得者。

- ◇第1次試験 9月21日（日）
- ◇試験会場 山口・小郡消防組合消防本部
- ◇受験手続き 山口・小郡消防組合消防本部総務課、南消防署、東出張所、小郡町役場総務課にある「受験申込書」で同消防本部総務課（亀山町2-1 ☎32-2600）へ
- ◇申込締切 8月18日（月）必着

募集コーナー

文化財教室のお知らせ

- 日時 8月6日(水)～8日(金)、午前9時30分～午後4時
- 場所 市歴史民俗資料館ほか
- 内容 市内の遺跡めぐり、発掘現場での発掘体験学習など
- 対象 小学5年生～中学生
- 募集人員 30人(応募多数の場合は抽選)
- 参加料 200円(保険料として)
- 申し込み はがきに住所・氏名・電話番号・学校名・学年を記入し、7月22日(消印有効)までに市教育委員会文化課(春日町5-1 ☎20-4111)へ

倉敷チボリ公園ツアー

- 期日 8月2日(土)、3日(日)、10日(日)、23日(土)
- 時間 午前6時30分 湯田旧交通局車庫出発/午後8時帰着予定
- 乗車場所 湯田旧交通局車庫・宮野交通局(駐車場あり)/山口市市民会館前
- 行先 倉敷チボリ公園
- 最小催行人員 各日35人
- 参加料 大人8,000円、子ども6,500円、身障者7,200円(入園料含む・食事は自由)
- ※親子ペアの場合は13,500円
- 申し込み 山口市交通局(第二種旅行業知事登録第2-44号 ☎22-2555)へ

夏休み絵画教室

- 場所 市児童文化センター
- 募集人員 各30人(先着順)
- ※2・3・4年生は両日出席のこと
- 申し込み 8月6日～9日の午前9時～午後5時の間に、市児童文化センター(湯田温泉五丁目2-13 ☎22-4285) 備え付けの申込書で直接同センターへ

対象学年	期日	曜日	時間
小学校1年生①	8月21日	木	10:00～12:00
小学校1年生②	8月22日	金	10:00～12:00
小学校2年生	8月21日 8月22日	木 金	13:30～15:30
小学校3・4年生	8月26日 8月27日	火 水	13:30～15:30

食べるだけじゃものたりない!!

あま～いいちご つくりませんか?

- ☆イチゴ定植イベント 9月21日(日) 午前10時～午後3時(平川岡小路イチゴハウス) / レクリエーションやイチゴの植え付けなど(農村青年がアドバイスします)

- ☆イチゴ収穫祭 12月20日(土) 午後3時～7時(山口中央農業協同組合会議室) / イチゴ収穫、ケーキ作り、パーティーなど

- ※イチゴ狩りは3月までできます。
- 参加資格 独身女性
- 募集人員 12人(先着順)
- 参加料 無料
- 申し込み 8月8日までに、市農業委員会事務局(市役所内 ☎22-4111)へ

児童館夏休み特別講座

- モンキーふうりんづくり
～ラップのしんを使って!～
☆期日 7月30日(水)
☆募集人員 30人
☆持参品 おりがみ・色えんぴつ・のり・はさみ・セロテープ
- くるくるブランコづくり
～牛乳パックを使って!～
☆期日 8月7日(木)
☆募集人員 親子15組
☆持参品 ホッチキス・はさみ・目打ち
- 小ものいれづくり
～土粘土を使って!～
☆期日 8月19日(火)
☆募集人員 30人
☆持参品 タオル・空箱(20cm×20cm×5cmくらい)
- パタパタがえしづくり
☆期日 8月29日(金)
☆募集人員 30人
☆持参品 のり・はさみ・サインペン(6色程度)・セロテープ
- 場所 市児童館(下堅小路254)
- 時間 午前10時30分～正午
- 対象 小学1年生～3年生
- 会費 200円
- 申し込み 7月23日～25日の間に市児童館(☎28-8656)へ(先着順)



同和問題を 考える

捨てきれない
荷物のおもさ

まへうしろ 山頭火

托鉢に歩く山頭火でさえ、どうにもならぬほどの荷物を身にまとっていました。

わたしたちには、財産・地位・世間体…と、執着するものがいっぱいあります。学問や知識もと次々に追い求めています。

でも、そんな中で本当に人生にとって値うちのあるものとなると、いかほどのものが残るでしょうか。車椅子の詩画家星野富弘は、風に舞うタンポポを見て「私も余分なものを捨てれば空が飛べるような気がしたよ」とうたっています。

ヒトはさまざまなる影響を受けながら成長しますが、部落差別の感情は、幼い時にいわば人生の先輩から教え込まれた誤った知識や迷信によるところが多いといわれます。

一方、貴族から賤族までの身分制度が幕藩体制の強化をねらっ

「人として 生きる願いを たいせつに」

て作られたものであることから、差別は政治的に仕組まれてきたことも明らかです。以来、ひろく人権問題の解決は国(行政)の責務と考えられています。

わたしたちの住む社会は、まだ「縦社会」として人を上下の関係で見ることが多く、差別感情をそのまま温存し、日頃の生活場面で差別意識をもたげさせる危険をはらんでいます。

左のステッカーは、山口市が同和問題をはじめ、ひろく人権の大切さをみんなで考えていただけのように用意しているものです。このステッカーを市民のだけれどそれぞれの心にはって、人として生きる願いを大切に、いつもしなやかな人権感覚を育むように努めてほしいと願っています。



(このステッカーは、お宅の玄関や車にもはれます。市教育委員会同和教育室にお申し出ください。)

市民パソコン講座 ～ホームページ作成教室～

- 日時 8月24日(日)午後1時～5時
- 場所 山口コンピューター専門学校(富田原町2-23)
- 対象 インターネットに興味のある方で文字入力のできる方
- 募集人員 30人(応募多数の場合は抽選)
- 教材費 1,000円
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を記入し、8月8日(必着)までに市地域開発課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ

山口ひびき少年塾

- 期日 8月26日～平成10年1月25日の毎月1回、学校休校日
- 内容 自然観察や野外活動、ボランティア体験など
- 対象 小学4年生～中学2年生
- 募集人員 40人(先着順)
- 参加料 1回につき500円(昼食代)
- 申し込み はがきに「山口ひびき少年塾」(ぼくらの／ふるさと探検／タウン・ウォッチング)への参加希望・氏名(ふりがな)・学校名・学年・保護者氏名・住所・電話番号を記入し、7月31日までに山口市明るい社会づくり推進協議会事務局(周布町3-7 ☎20-0865)へ

ニュースポーツ教室

- 日時 7月29日～10月7日の毎週火曜日、午後7時～9時
- 場所 山口南総合センター
- 種目 ターゲットバードゴルフ、パドルテニスなど
- 募集人員 50人(先着順)
- 参加料 3,000円(保険料および実費)
- 申し込み 7月17日から山口南総合センター(名田島1218-1 ☎32-8333・小郡72-8333)へ
- ※7月25日(金)午後7時から説明会を開催します。

自衛官募集

- ◆応募資格
 - ・一般曹候補学生 18～24歳未満の者
 - ・曹候補士 18～27歳未満の者
 - ・航空学生 高校卒(見込み)で21歳未満の者
 - ・2等陸・海・空士 18～27歳未満の男女
- ◆受付期間 8月1日～9月9日(2等士は12日まで)
- 【募集説明会】
 - ◆日時 8月3日(日)午後1時～3時
 - ◆場所 自衛隊山口地方連絡部(八幡馬場814)
 - ◆種目 防医大・防大・航空学生・看護学生・曹候補学生・曹候補士・2士など
 - 問い合わせ 自衛隊山口募集案内所(☎25-8231)へ

パソコン一日体験講座

- 期日 8月2日(土)
- 時間 (午前の部)午前10時～午後0時30分 (午後の部)午後1時30分～4時
- 場所 ニューメディアプラザ山口(熊野町1-10)
- 内容 パソコンの基礎知識や活用法を学ぶ
- 募集人員 各部8人(先着順)
- 受講料 無料
- 問い合わせ 往復はがきに講座名・住所・氏名・年齢・職業の有無・電話番号と、返信用はがきに住所・氏名を記入し、7月25日までに山口県婦人教育文化会館(湯田温泉五丁目1-1 ☎22-2792)へ

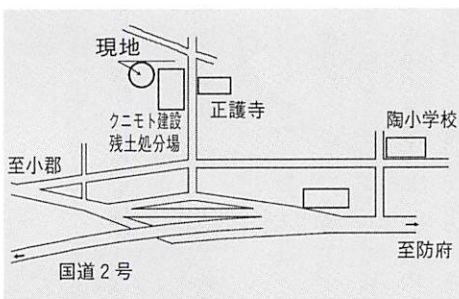
夏休み親子テスト教室

- 期日 7月28日(月)、30日(水)、8月1日(金)
- 時間 午後1時～3時
- 場所 山口県消費生活センター(葵二丁目6-2)
- 内容 カッターチーズ作りと牛乳についての学習
- 対象 小学5年生～中学生とその保護者
- 募集人員 1回あたり親子16組(先着順)
- 持参品 牛乳(500ml)、レモン1個
- 申し込み 7月21日までに、山口県消費生活センター(☎24-2421)へ

陶窯跡群発掘調査 現地説明会の開催

陶窯跡群は、須恵器を焼いた窯の跡です。平成7年度に調査した2基に続き、4基の窯跡と、窯場での作業場と考えられる遺構が見つかりました。

- 説明会日時 7月26日(土)午後1時～3時(小雨決行)
- 場所 陶西ノ浴
- 問い合わせ 市教育委員会文化課(☎20-4111)へ



- 日時 九月七日(日)午後二時開演
- 場所 山口市民会館大ホール
- 出演 渡辺美佐子、坂東秀調外
- 入場料 S席(指定) 四千五百円、A席(指定) 四千円、B席(自由) 三千五百円
- ※当日は、各五百円増し
- 問い合わせ 山口市民会館(☎23-1000)へ

「酔ざめお園」

渡辺美佐子のネオ・リアル・カブキ

墓地の住所(山口市大字大内長野二二六〇一、二二六〇二)	地番	一二六〇一八
基數	5	
土地所有者住所	山口市亀山町二番一号	
氏名	山口市	

主要県道山口鹿野線地法特定道 市生活環境課(☎22-4111) 路整備工事の施工に伴い、墓地の改葬が行われます。左表の縁故者へお申し出ください。 届出のない場合は、無縁仏との方、八月十八日(月)までに して改葬されます。

墓地の改葬縁故者は届出を

催し物とお知らせ

ファミリーシアター (映画)

- 日時 7月27日(日) 午前10時～11時40分、午後1時～2時40分(2回上映)
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 上映作 「金田一少年の事件簿」
- 入場料 無料
- 問い合わせ 山口南総合センター(☎小郡72-8333)へ

インターナショナルわいわいトーク 異文化体験講座

- 日時 7月26日(土) 午後2時～4時
- 場所 サンフレッシュ山口視聴覚室(湯田温泉五丁目5-22)
- 内容 中国事情や山口での生活、子育て論などについて
- 講師 山口大学院生 李俄宛(リウエシエン)さん
- 募集人員 50人(先着順)
- 参加料 無料
- 申し込み サンフレッシュ山口(☎33-0001)へ

市民と音楽の夕べ

- 日時 7月19日(土) 午後6時30分開演
- 場所 山口市民会館大ホール
- 入場料 無料
- 問い合わせ 自衛隊山口地方連絡部(☎22-2325)へ

消費生活専門相談員 資格認定試験

- 期日 9月25日(木)
- 場所 福岡県吉塚合同庁舎
- 資格 平成9年4月1日現在、満23歳以上の者
- 受験料 10,500円(消費税含む)
- 受付期間 8月1日～31日
- 問い合わせ 申込方法など、詳しくは市生活環境課(☎22-4111)へ

市の建設工事等の 指名競争入札参加資格 申請の追加受付

- 参加資格 建設業法第3条の許可業者で、同法第27条の23の経営に関する事項の診査を受けている者のほか、測量業者、建設コンサルタント、地質調査業者、補償関係コンサルタントで、今年2月に資格審査の申請をしていない者・業者であること
- 受付期間 8月1日(金)～9月1日(月)
- 問い合わせ 市工事検査課(☎22-4111)へ

第40回中国高等学校 ソフトテニス選手権大会

- 期日 7月21日(月)・22日(火)、午前9時試合開始
- 場所 維新百年記念公園テニスコート
- 問い合わせ 河村賢一さん(☎22-0418)へ

第39回水道週間ポスター コンクール入選者発表

局長賞	山根 美子	附属小学校	4年
金賞	斉藤 祐美	白石小学校	4年
銀賞	堀越美穂子	附属小学校	6年
銅賞	田中 恵子	大内小学校	4年
佳作	松木 彩	大内小学校	4年
◇	徳川 千裕	白石小学校	4年

募集コーナー

市内遺跡発掘調査作業員募集

- 募集人員 15人程度
- 条件 65歳以下で、ある程度恒常的に発掘調査に参加できる人
- 作業内容 遺構の掘り込み・実測作業(指導いたします)
- 賃金 6,600円(日額)
- 作業時間 午前9時～午後4時
- 応募方法 市教育委員会文化課(春日町5-1☎20-4111)に、履歴書を持参

夏休み星空教室

- 日時 8月1日(金) 午後7時30分～9時
- 集合場所 小鯖公民館
- 内容 大気や星座についての話を聞き、星空観察をする
- 対象・募集人員 小学生高学年50人とその保護者
- 申し込み 7月28日までに市生活環境課(☎22-4111)または小鯖公民館(☎27-0021)へ

8月の不燃物収集日

1日(金)	仁保
4日(月)	上金古曾・下金古曾・大市諸願・八幡馬場・天花・上古熊・古熊・太刀売
5日(火)	小鯖
6日(水)	吉敷
7日(木)	木町・上堅小路・下堅上・野田・大殿大路・西滝・東滝
8日(金)	大蔵
11日(月)	(上・中・下)後河原・久保小路・中市・新馬場・銭湯小路・相物小路・松の木町・中河原・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町
12日(火)	嘉川
15日(金)	佐山
18日(月)	米屋町・御局小路・天神通り・今市・西惣太夫・東惣太夫
19日(火)	名田島・秋穂二島
20日(水)	陶・鑄銭司
21日(木)	(上・中・下)道場門前・鰐石・(上・中・下)清水・荒高・今道・大附・田町
22日(金)	大内
25日(月)	三和町・中讃井・熊野・竜王町・東糸米・西糸米・東白石・西白石
26日(火)	宮野
27日(水)	元町西・元町・湯屋町・一本松・前町
28日(木)	平川
29日(金)	朝倉中央通り・東朝倉・西朝倉・角下市町

○日時 7月23日(水) 午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士 市広報広聴課

○問い合わせ 市広報広聴課

書などを、詳しい書類(登記、契約)を持参してください。

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、

市民 無料法律相談

☎22-4111へ

編集後記

▽さるすべりの真つ赤な花・ムクゲの「八重咲き」の花が咲いた。もうすぐ夏休みだ。親子のふれあいをしっかりと。▽本号で、市報千二百号。創刊は昭和十四年四月一日山口公報として出発、五十八年間で達成。昭和十八年から山口市報、そして終戦を迎え休刊となる。昭和二十四年に山口市報として復刊、三十四年山口市報、四十六年市報やまぐちに改名となり、その後タイトルの字体を四度変え、現在の文字になっている。

健康コーナー

育児講座

「赤ちゃんのお世話」

- 日時 7月28日(月)午後1時30分～2時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 内容 季節や発育にあわせた育児のポイントなど
- 対象 2～5か月の乳児をもつ母親
- 受講料 無料
- 問い合わせ 市保健センター(☎21-2666)へ

健康教室

- 日時 7月25日(金)午後1時～2時30分
- 場所 佐山公民館
- 内容 「ドクターが答える健康管理Q&A」
- 講師 田村内科院長 田村勝博先生
- 受講料 無料
- 問い合わせ 市南保健センター(☎小郡72-9850)へ

催し物とお知らせ

電話加入権の公売

- 市では、市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を、入札により公売します。
- 日時 7月31日(木)午前9時40分から
 - 場所 市役所2階第2会議室
 - 持参品 印鑑、身分証明書(運転免許証など)、入札予定金(50,000円以上・消費税別途)
 - ※本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です。
 - 公売する加入権 2件
 - 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
 - ※市税等の納入により、当日公売を中止することがあります。

夏だ！ウキウキ ニューメディア科学館

- 場所 ニューメディアプラザ山口 ニューメディア科学館(熊野町1-10)
- 期間・内容
 - ・7月20日(日)～31日(木) デジカメ暑中見舞い！(デジタルカメラで顔写真入りはがきを作ろう)
 - ・8月1日(金)～10日(日) やまぐちけんクイズ(インターネットの山口県ホームページのぞいてみよう)

- ・8月12日(火)～20日(水) キャプテンスロット(キャプテンで運だめし)
- ・8月21日(木)～31日(日) デジカメカレンダー(オリジナルカレンダーをつくってみよう)
- 時間 午前9時30分～午後5時
- 入場料 無料
- 問い合わせ (財)山口県ニューメディア推進財団(☎21-1125)へ
- ※7月22日・28日、8月4日・11日・18日・25日は休館日です。

無料胸部レントゲン検診 (結核検診・肺がん検診)		大 歳 地 区	
8月5日(火)	9:00～9:30	今井町	山県種苗店横
	9:50～10:20	若宮町	山口酒販会館前
	10:40～10:50	周布町	雇用促進住宅周布宿舍内
	11:10～11:30	幸町	上湯田下公会堂前
	13:30～13:50	中矢原	矢原住宅広場(中村ハイッ前)
	14:10～14:30	下矢原	旭幼稚園
8月6日(水)	9:00～9:20	朝田	原田正龍宅横
	9:40～10:00	和田	はりま太鼓山口朝田店横
	10:20～10:40	高井	山口県農業(株)駐車場
	11:00～11:20	勝井	大歳駅前
	13:30～13:50	岩富	嶋村印刷駐車場
	14:10～14:30		大歳公民館
		吉 敷 地 区	
8月7日(木)	9:00～9:20	中村	田中喜代一宅前
	9:40～10:00	木崎	木崎公会堂前
	10:30～11:00	下東	山口合同宿舍湯田住宅
	13:30～13:50	葵二丁目	山口環境保健所跡
	14:10～14:30	稲葉町	稲葉団地内児童公園
8月8日(金)	9:10～9:30	吉敷畑	中村義輝宅前
	10:00～10:20	中尾	中尾公民館前
	10:40～10:50	緑ヶ丘	中尾雅巳宅前
	11:10～11:30	赤田	赤田公民館前
	13:30～13:50	上東	高田稔宅前
	14:10～14:30		吉敷公民館
		かくだん検査(肺がん検診)	
○対象 40歳以上の市民 特に①6か月以内に血の混ざったたんの出た方 ②50歳以上でたばこを多く吸われる方			
○料金 400円(70歳以上、生活保護、市民税非課税世帯の方は無料)			
※受診の際には事前に送付する受診票(はがき)を持参してください。			
※問い合わせは市保健センター(☎21-2666)へ			
※他の地区は次号以降に掲載します。			
日 時 間		場 所	
嘉 川 地 区			
7月29日(火)	9:20～10:00	高根	公民館前
	10:20～10:40	岡屋	興進小学校
	11:00～11:20	東今津	益富武文宅前
	13:30～13:50	寄江山	本正明宅横
	14:10～14:30	深溝	かわむら美容室前
	14:50～15:00	今井	藤岡保宅前
7月30日(水)	9:30～9:40	西本郷	西村泰夫宅前
	10:00～10:10	宮の原	石川俊彦宅前
	10:30～10:50	稽古屋	桂涼子宅前
	11:10～11:30	赤坂	公民館横
	13:30～13:50	原条	原条公会堂前
	14:20～14:30	中田畑	義永誠治宅前
7月31日(木)	9:20～9:40	干見折	福島安雄宅前
	9:50～10:10	免地	藤井好春宅前
	10:30～11:00	上嘉川	嘉川駅前
	11:20～11:30	原	公会堂前
	13:30～13:40	相原	漁協前
	14:00～14:20	高見	浅原一夫宅前
	14:40～15:00		嘉川公民館
佐 山 地 区			
8月1日(金)	9:40～10:00	由良	本区良駅前
	10:20～10:50	須川	公会堂前
	11:10～11:30	佐山西	岩本靖生宅前
	13:20～13:40	小路	原田隆元宅前
	13:50～14:00	佐山東	佐山区公会堂前
8月4日(日)	9:40～9:50	新地	平野正喜宅前
	10:10～10:20	渚	公会堂前
	10:40～10:50	遠波	公会堂前
	11:10～11:30	鳩岡	公会堂前
	13:30～14:00		佐山公民館

**正しく使って
楽しい花火**

夏の風物詩「花火」の季節となりました。

火薬が少なく安全なおもちゃ花火も、使用方法を誤ると事故につながります。正しく使って楽しい花火。注意書や使用方法をよく読んで、迷惑にならない場所と時間に遊びましょう。

**夏休み中の
臨時サイレン**

小・中学校の夏休み期間中(七月二十日～八月三十一日)は、午前十時にサイレンを鳴らします。

○時刻
・八月六日 午前八時十五分
・八月九日 午前十一時二分

**平和記念の黙とうに
ご協力を**

原爆が広島に落とされた八月六日と、長崎に落とされた八月九日にサイレンを鳴らします。

原爆死没者の慰霊を平和祈念のため、一分間の黙とうにご協力ください。